

武器貿易条約(ATT)第4回締約国会議直前シンポジウム

# 世界の武器移転をめぐる 理想と現実

2018年  
8月18日(土)

13:00~18:00(12:30開場)

明治大学駿河台キャンパス

グローバルフロント1階 グローバルホール

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

【主催】明治大学国際武器移転史研究所

【共催】「武器と市民社会」研究会

【後援】オスロ国際平和研究所 (PRIO)、外務省、スマール・アームズ・サーヴェイ、

政治経済学・経済史学会兵器産業・武器移転史フォーラム、

拓殖大学海外事情研究所、日本軍縮学会、

ノンバイオレンス・インターナショナル東南アジア事務局、

ブランドフォード大学平和・国際開発学部門 (五十音順)

【言語】英語および日本語 (同時通訳あり)



## 【参加方法】

事前登録制です。登録期限の2018年8月17日(金)までに、以下の登録フォームからお申し込みください。

<http://bit.ly/ATTCSP4>

この期限にかかわらず、登録者が定員に達した場合は登録を締め切らせていただきます。いただいた個人情報は、本セミナーの共催団体である「武器と市民社会」研究会により厳密に管理され、この研究会からのご案内以外の目的には使用いたしません。

## 【お問い合わせ先】

明治大学国際武器移転史研究所の事務局までメールでお問い合わせください。

E-mail: rihgat@meiji.ac.jp

【明治大学国際武器移転史研究所ウェブサイト】  
<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~transfer/>

【「武器と市民社会」研究会ブログ】  
<http://aacs.blog44.fc2.com/>

参加費  
無料

事前  
WEB申込  
[定員100名]



# 登壇者プロフィール(登壇順)



## 小川 知之(おがわ としゆき)

明治大学副学長(研究担当)。1980年栃木県立足利高等学校卒業、1984年京都大学理学部卒業。広島大学理学部助手、大阪大学大学院基礎工学研究科准教授を経て2011年より明治大学総合数理学部教授。専門は現象数理学、力学系の分岐理論。日本応用数理学会代表会員、*Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics*編集委員。主著に、"Selective pattern formation control: Spatial spectrum consensus and turing instability approach", *Automatica*, 56 (共著、2016)、「反応拡散系における不安定定在波の選択的安定化」『計測自動制御学会論文集』51:2 (共著、2015)、『非線形現象と微分方程式—パターンダイナミクスの分岐解析—』(単著、サイエンス社、2010)など。



## 高見澤 将林(たかみざわ のぶしげ)

軍縮会議日本政府代表部特命全権大使。防衛省防衛政策局長、防衛研究所長、内閣官房副長官補(国家安全保障局次長)を経て、2016年12月より現職。2017年9月に開催されたATT第3回締約国会議において、8月20日-24日の間東京において開催される第4回締約国会議議長に選出。議長就任後、アジアやアフリカ諸国をはじめ、世界各地において条約の普遍化に向けた取組を精力的に実施。また、日本政府としてATTの条約履行等を支援すべく任意信託基金へ300万米ドルを拠出(本年3月)。



## 榎本 珠良(えのもと たまら)

明治大学国際武器移転史研究所専門研究員、「武器と市民社会」研究会共同代表。2003-2015年に国際NGOに勤務しATT交渉に関与。2015年より現職にてATT締約国会議プロセスのモニタリング実施。主著に『国際政治史における軍縮と軍備管理-19世紀から現代まで-』(編著、日本経済評論社、2017)、"Giving up the gun?: Overcoming myths about Japanese sword-hunting and firearms control", *History of Global Arms Transfer*, 6 (2018)、"Controlling arms transfers to non-state actors: From the emergence of the sovereign-state system to the present", *History of Global Arms Transfer*, 3 (2017)、「2017年9月の武器貿易条約(ATT)第3回締約国会議に向けて」『国際武器移転史』4(2017)など。



## 佐藤 丙午(さとう へいご)

拓殖大学教授・海外事情研究所副所長、「武器と市民社会」研究会共同代表。防衛庁防衛研究所主任研究官を経て現職。経済産業省産業構造審議会貿易経済協力分科会安全保障貿易管理小委員会委員、外務省参与等も兼務。国際安全保障学会理事、日本安全保障貿易学会副会長、一般社団法人日本戦略研究フォーラム政策提言委員。専門は国際関係論、安全保障、アメリカ政治外交、軍備管理。主著に「自律型致死性無人兵器システム」『国際問題』672(2018)、「技術開発と安全保障貿易管理—オープン・マーケット・アプローチと輸出管理—」『国際政治』179(2015)、「致死性自律兵器システム(LAWS)をめぐる諸問題」『国際安全保障』42-2(2014)、「日米欧の通常兵器移転政策の比較」『軍縮研究』5(2014)など。

